

カルファケミカルの 高機能消臭剤

パイオベンチャーのカルファケミカル(本社横浜市、社長小池恵治氏、資本金三千万円)が開発した高機能消臭剤が台湾の環境保全局から正式に採用された。ごみ処理場などで発生する悪臭、有毒ガスを化学的に分解する消臭液で、根本的ににおいをなくす性能が高く評価された。健康や労働環境対策などからの需要は根強いとみて、台湾の民間企業はもちろんだ、日本の自治体へも売り込んでいく。

台湾環境保全局が正式採用

正式採用になったのはミナソを出荷する。ネラライオンを利用した消臭液「カルファVLD」(商品名)。ナトリウム、カリウム、カルシウム、鉄などのイオンを高濃度含んでおり、悪臭成分のアンモニアや硫化物と反応しておいを消す。年内に原液十

ゴミ処理場など向け

台湾の環境保全局では、し尿、ごみの処理場や公営の畜産工場、農場など悪臭

実験を済ませているほか、日本でも魚介類の流通業向けや室内の消臭スプレーとして販売実績を持つ。工場や農場から悪臭が発生すると作業者の健康を害するだけでなく、近隣住民からの苦情を受けることになる。環境問題がクローズアップされている時だけに、カルファでは悪臭対策が求められているごみ処理やし尿処理分野への販売を強化する。